

牛白血病の防疫対策

【原因は?】

牛白血病は、リンパ系の細胞を腫瘍化させる病気です。本病は地方病型と散発型に大別されますが、その殆どは地方病型の白血病であり、牛白血病ウイルス(BLV)が原因で起こります。

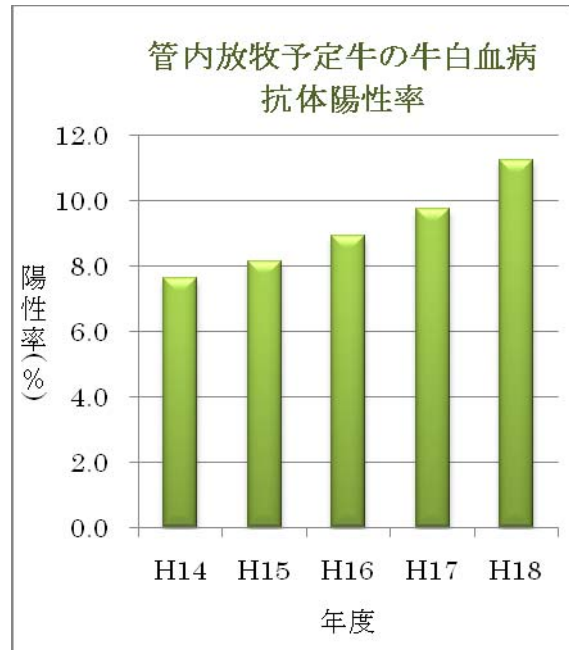
【なぜ、今問題なの?】

牛白血病は近年全国で多発傾向にあり、BLV 抗体陽性牛もかなり高率にみられます。また、管内の牛の BLV 抗体陽性率も増加傾向にあります。

本病の発病率は約 0.8%と低いものの、現在有効な治療法がなく、発病すると元気消失、乳量減少などを起こし、数週間から数カ月後に死亡するため、本病による経済的損失は少なくありません。

また、感染した牛は、生涯ウイルスを体内に持ち続け、ほかの牛への感染源となることから対策が必要です。

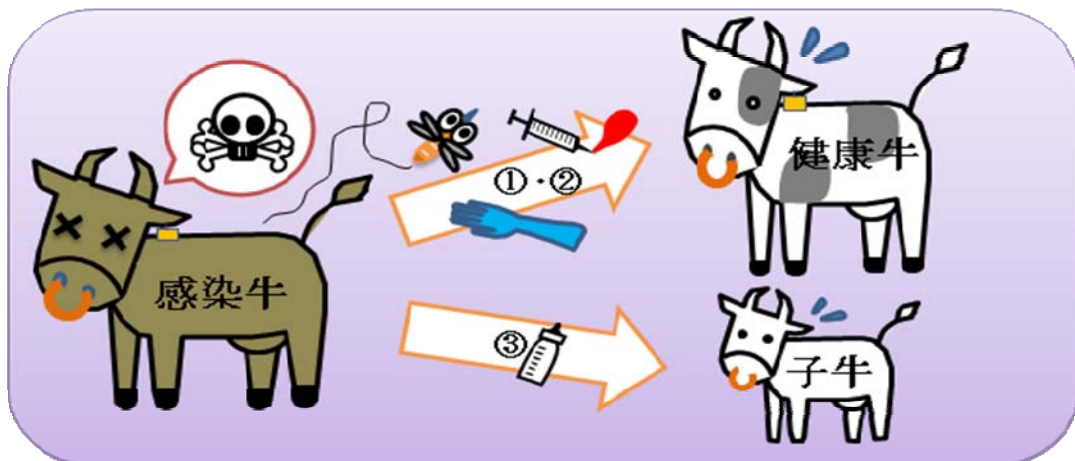
本病を正しく理解し、地域へのまん延を防止しましょう。



【病気の広がり方は?】

牛白血病は次のようなことで広がります。

- ① 人為的なもの ⇒ 直腸検査用手袋や注射針、除角器具などの連続使用による感染
- ② 昆虫によるもの ⇒ 吸血昆虫(アブなど)による感染
- ③ 親子によるもの ⇒ 乳汁感染や胎内感染など、母牛から子牛への感染



本病は、感染牛の血液 $1\mu\text{L}$ ($1\mu\text{L}$ は 1L の 100 万分の 1) という ごく微量の血液でも感染が成立するとされています。

【症状は?】

ウイルスに感染しても、ほとんどの牛は無症状のままですが、一部の牛は感染の1～8年後に発症します。

症状は、痩せて、元気がなくなり、乳量が低下し、下痢や便秘などを示し、病気が進行すると体表リンパ節の腫脹や眼球の突出などが認められるようになり、最終的には死亡します。



体表リンパ節の腫れ



【対策は?】

人為的な感染の防止

直腸検査用手袋や注射針、除角器具などは1頭ごとに交換してください。これらの連続使用は感染拡大につながります。

子牛への感染防止

陽性牛の初乳・生乳を給与しない。陰性牛の初乳を凍結保存して使用する、あるいは人工初乳を利用するなど、子牛に感染が広がらないように気をつけてください。

陽性牛の隔離・とう汰

残念ながら今のところ本病を治療する方法はありません。陽性牛は隔離し、感染の拡大を防止するとともに、計画的にとう汰するようにしてください。

消毒・吸血昆虫の駆除

基本的なことですが、手指や作業服、道具などの消毒や定期的な害虫駆除は本病の予防に有効ですので、積極的に実施してください。

【お問い合わせ先】

栃木県北家畜保健衛生所

〒329-2713 栃木県那須塩原市緑2丁目12-14

TEL 0287-36-0314 FAX 0287-37-4825